

## 第〇学年保健体育科(保健)学習指導案

指導者(体育領域専攻) ○○○○

(指導担当教員 ○○○○)

1. 日時 平成〇年〇月〇日(〇曜) 第〇校時(〇〇:〇〇~〇〇:〇〇)
2. 学年・組 第〇学年〇組〇名 計〇名
3. 場所 第〇学年〇組 HR教室
4. 題材名(テーマ) タバコと健康について考える「タバコを法律で禁止すべきかいなか」

### 5・題材の目標

(関心・意欲・態度)

- ・喫煙と健康の関係について関心を持つ。
- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択について影響している要因について関心をもち、進んで話し合いに参加する。

(知識・理解)

- ・喫煙が健康を及ぼす影響についての現状と一般的な知識を理解する。
- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択に関わる要因を身体的・精神的・社会的な視点から説明することができる。

(思考・判断)

- ・喫煙が健康に及ぼす影響の知識から、人間が健康を維持する方法を思考・判断することができる。
- ・喫煙に関する意思決定と行動選択に影響する要因を、様々な角度から分類・整理し、望ましい考えを導き出すことができる。

### 6. 題材について

#### ①題材観

タバコの煙には 4000 種類以上の化学物質が含まれている。そのうち、健康被害の原因となる有害物質は、現在わかっているだけでも 200 種類以上ある。喫煙はがんを始めとして様々な病気の引き金になることが明らかになっている。有害物質は主流煙より副流煙に多く、非喫煙者にも健康障害をもたらす。WHO の発表によると、タバコは世界で年間 500 万人の死亡原因になっていることが報告されている。このまま対策を講じなければさらに被害は拡大するものと思われる。健康被害の大きいタバコの消費を減らそうと、WHO では 2003 年に「たばこ規制枠組条約」を批准し、2005 年日本も批准したが、内実は骨抜き状態である。こうした動きに関して効果は上がったのか、諸外国と比較してどうなのかを知っていることは少ない。また、その情報を鵜呑みにするだけで、「タバコを禁止すべき」と声高に叫ぶ人も多い。しかし、なぜ自らのその意志を決定するかまでは深く考えることはない。今回「百害あって一利なし」のタバコを「法律で禁止すべきかいなか」をディスカッションすることより、喫煙に関わる意思決定と行動選択を考えることから、ある事象に対する意思決定と行動選択について生徒がしっかりと考えることをねらいとする。

#### ②生徒観

現在生徒は高校生でもあり喫煙者はいないはずである。しかし、事前のアンケート結果によると、9%が吸ったことがあると答えている。現在、わが国では、男性の喫煙率が低下したとはいえ、なお高い喫煙率と、若い女性の喫煙率は上昇しており、生徒もそのことは知っているようである。生徒は、自分の身の回りをみたとき、案外喫煙者を目にしているようである(アンケート結果よ

り 60%が自分の周りにタバコを吸っている人がいると答えている)。社会的には未成年はタバコを禁じられているが、大学生ともなると未成年であるのに喫煙している者もいるし、社会も大学生の喫煙を容認していることから、生徒の中で喫煙するものがあり、また友達の喫煙を容認している生徒もいると考えられる。生徒の多くは、喫煙の依存性の強さを考えると、対策の重点はこの時期に喫煙の開始や習慣化を防ぐことが大切であることは理解しているものの、喫煙開始にかかわる種々の要因や、自らの生活行動が生涯にわたる心身の健康を決定する要因などについて深く考えたことが無いであろう。

### ③指導観

タバコが健康に悪いことは周知の事実であるため、この年齢層の意識に強く訴えかけるインパクトのある要因を知らせることが必要である。また、喫煙は他人に迷惑をかける行為であること、喫煙者はタバコを吸わない人の権利を守ること、吸う人のマナーの必要性を認識させることが大切である。さらに、喫煙開始に影響を与える社会的要因（友人、家族、宣伝、広告、自販機等）が強く関わっていることを知らせることも大切である。

そして、諸外国と比較しながら、わが国の喫煙抑制対策の現状を知り、法律で規制されるのではなく、将来にわたって喫煙しないという生活行動を身に付けさせたい。

## 7. 指導計画(全4時間)

第一次 喫煙と健康について・・・3時間

第二次 喫煙に関する意志決定と行動選択について・・・1時間(本時 1/1)

## 8. 本時の学習

### ①本時の目標

- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択について影響している要因について関心を持ち、進んで話し合いに参加することができる。
- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択に関わる要因を身体的・精神的・社会的な視点から説明することができる。
- ・喫煙に関する意思決定と行動選択に影響する要因を、様々な角度から分類・整理し、望ましい考えを導き出すことができる。

### ②本時について

前時までには、生徒はいろいろな手段で、喫煙と健康について調べてきている。その中では賛否はいろいろあることが分かっている。しかし、生徒はその中身まで深く考察したことはない。また、一般的に、何かの事象に対して、どのように意思決定、行動選択が行われるかを十分に考えたことも少ないと考えられる。そこで、本時では、「喫煙を法律で禁止するかどうか」を考えることから、喫煙に関して、情報として知っているだけでなく、生徒が自分の意思決定、行動選択という視点から深く分析・考察できるようになることがねらいである。

③本時の展開

○主なる指示・発問 ■評価

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援・評価 (教師の活動)	準備物・ 資料等
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起立し挨拶をする。</li> <li>・礼をする。</li> <li>・着席をする。</li> </ul> <p>1. 本時のテーマを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文用紙にテーマを記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「タバコを法律で禁止すべきかいなか」を考えよう。</p> </div> <p>2. 本時の授業内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・討論の形態を知る。</li> <li>・指示に従い6～7つずつ机を向かい合わせる。</li> <li>・タバコのアンケート調査結果を見る。</li> <li>・配布された資料をみてそれぞれの項目ごとに特徴を読み取る。</li> <li>・外国のタバコに関する状況を知る。</li> <li>・「タバコを法律で禁止する」ことに賛成か反対かを考える。</li> <li>・賛成、反対のどちらかに挙手する。(事</li> </ul>	<p>○「本時の授業を始めます。起立。 礼。 着席。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者の確認をする。</li> <li>・小論文用紙を配布する。＜資料1＞</li> </ul> <p>○本時のテーマ「タバコを法律で禁止すべきかいなか」板書する。</p> <p>○本時の授業内容（「タバコを法律で禁止すべきかいなか」を討論により考える）を説明する。</p> <p>○討論の形態を説明する。</p> <p>○「座席を基に6つのグループに分けるので、机を向かい合わせなさい。」</p> <p>○「タバコに関するアンケート結果の配布＜資料2＞先日実施したタバコに関するアンケート結果です。項目ごとのグラフを見てください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. タバコを法律で禁止すべきだと思いますか。それはなぜですか。</li> <li>2. 知人でタバコを吸っている人がいますか。それは誰ですか。</li> <li>3. 将来タバコを吸いたいと思いますか。</li> <li>4. 知人で禁煙に成功した人はいますか。</li> <li>5. タバコを吸ってみたことがありますか。</li> <li>6. タバコを吸っている人をかっこいいと思いますか。」</li> </ol> <p>○項目ごとのグラフをみて特徴を説明する。</p> <p>○外国のタバコに関する状況を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブータン王国では自分の部屋以外では喫煙は禁止されています。タバコの販売も禁止されており、違反した場合は罰金が課せられます。」</li> </ul> <p>○タバコを法律で禁止するかどうかファーストインプレッションで考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「タバコを法律で禁止する」ことに賛成か反対か</li> </ul>	<p>資料1</p> <p>資料2</p>

	前アンケートでは、60%強が賛成) 賛成 名 反対 名	いずれかに挙手しなさい。」 ・賛成が反対を上回ることが予想される。	
展開1 10分	3. タバコのいいところ、悪いところをグループ内で意見を出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">タバコのいいところ悪いところをグループで意見を出し合ってみましょう。</div> ・代表者が板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">良いところ</div> 落ち着く、気分転換、かっこいい、仲間ができる、税収入など <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;">悪いところ</div> 身体に悪い、迷惑（副流煙）、臭い、依存性、火事のもとなど	○タバコのいいところ、悪いところを班ごとに考えさせる。  ○「タバコのいいところ、悪いところを班毎に意見を出し合い、代表者が前に出て板書しなさい。」	記録用紙
展開2 10分	4. タバコを全面禁止にしたら何がおこるのかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">タバコのいいところ悪いところをグループで意見を出し合ってみましょう。</div> ・指示に従ってグループ内で意見を出し合い、代表者が板書する。 ・密売が増える、イライラする人が増える、禁断症状による暴動がおこるかも、税収入が減る、失業者が出る、火事が減る、世界が平和になる、空気がキレイになるなど。  ○話し合いの結果をもととして、「タバコを法律で禁止する」ことを考える。 ・「タバコを法律で禁止する」ことに賛成か反対か挙手する。 賛成 名 反対 名	○タバコを全面禁止にしたら何がおこるのかを考えさせる。  ○「タバコを全面禁止にしたら何がおこるのか班ごとに意見を出し合い、代表者が前に出て板書しなさい。」  ■喫煙に関わる意思決定と行動選択について影響している要因について関心をもち、進んで話し合いに参加しているか(机間指導をして生徒の様子を観察する。また、グループ内の他の人の発言をしっかりと聞くことができるか生徒の状況を観察する)。  ■喫煙に関わる意思決定と行動選択に関わる要因を説明することができるか(グループ毎に意見を確認する。また、グループ毎の記録用紙で点検する)。  ○話し合いの結果をもととして、「タバコを法律で禁止する」ことを考えさせる。  ○「ここでもう一度「タバコを法律で禁止する」ことに賛成か反対かいずれかに挙手してください。」  ・2度目は、反対が賛成を上回ると予想。	

<p>展開3 15分</p>	<p>5. 喫煙者と非喫煙者が共存するにはどうしたらよいかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       喫煙者と非喫煙者が共存するにはどうしたらいいのかをグループで意見を出し合ってみましょう。     </div> <p>・ 指示に従ってグループ内で意見を出し合い、グループ分けして、代表者が板書する。</p> <p><b>個人的要因</b> マナーを徹底する、モラルの向上など</p> <p><b>社会的要因</b> 守れない人には実刑もやむをえない、互いに相手の気持ちを考える、分煙の徹底、タバコブースを造る、害のないフィルターの開発など</p>	<p>・喫煙者と非喫煙者が共存するにはどうしたらよいかを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       喫煙者と非喫煙者が共存するにはどうしたらいいのか、身近なことから社会全体に関わることで、班毎に意見を出し合い、個人的や社会的要因などに、グループ分けして、代表者が前に出て板書しなさい。     </div> <p>○「喫煙者と非喫煙者が共存するにはどうしたらいいのか、身近なことから社会全体に関わることで、班毎に意見を出し合い、個人的や社会的要因などに、グループ分けして、代表者が前に出て板書しなさい。」</p> <p>■喫煙に関わる意思決定と行動選択に影響する要因を様々な角度から分類・整理することができたか(板書事項で確認、また、個々の小論文で点検する)。</p>	
<p>まとめ 10分</p>	<p>・教師のまとめを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       「タバコは法律で禁止する」ものではなくマナーである。     </div> <p>・各自小論文をまとめる。</p> <p>・小論文を提出する。</p> <p>・次時の予告を聞く。</p> <p>・終わりの挨拶をする。</p>	<p>○生徒の板書した意見をもとにまとめをする。</p> <p>・板書された意見を①個人的要因と②社会的要因に分類できる。</p> <p>○個人要因：知識、価値観、本人の性格、セルフエスティームなど</p> <p>○社会要因：友人、家族など周囲の人々、宣伝、広告、自販機、メディアなど</p> <p>・個人的要因は情緒的要因（心理状態、喜怒哀楽などの感情）と非情緒的要因（知識、科学的思考、技術、ライフスキルなど）に分類できる。</p> <p>・人間の行為の基準として、下位から上位へ、①有用基準（自分にとって損か得か）②原則基準（人間としてこう生きなければならない）③共感基準（好きだから、気にいっているから）がある。社会で生きていくためには自分さえよければいいのではない。みんなと一緒に生きていく基準でものごとを判断できればよい。「タバコは法律で禁止する」ものではなくマナーである。</p> <p>○「各自小論をまとめなさい。」</p> <p>○「書けた人から提出しなさい。」</p> <p>○次時の予告をする。</p> <p>○「本時の授業を終わります、起立、礼。」</p>	

#### ④評価(の観点と方法)

- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択について影響している要因について関心を持ち、進んで話し合いに参加することができたか。(観察・発言内容)
- ・喫煙に関わる意思決定と行動選択に関わる要因を身体的・精神的・社会的な視点から説明することができたか。(観察・発言内容)
- ・喫煙に関する意思決定と行動選択に影響する要因を、様々な角度から分類・整理し、望ましい考えを導き出すことができたか。(小論文)

#### ⑤板書計画

「タバコを法律で禁止するべきかいなか」		
いいところ・悪いところ	全面禁止にしたらどうなる？	じゃあ、どうしたらいい？

#### ⑥準備物

教師：小論用紙○枚，アンケート結果プリント○枚，記録用紙○枚

#### ⑦参考文献

- ・たばこ問題情報センター編『日本のタバコ事情～2007年版～』,2007
- ・文部科学省『健康な生活を送るために(高校生用)』,2008
- ・宇土正彦『現代保健体育学体系 17 公衆衛生』,大修館書店,1968
- ・『からだの科学 183』,日本評論社, 1995
- ・『からだの科学 237』,日本評論社, 2004

#### ⑧配布プリント・資料

次ページ以降に添付。

## ○年保健

( )班 テーマ ( )  
( )年( )組( )番 氏名( )

### I. 資料内容要約

### II. 討論・意見交換

- ・ 討論形式

- ・ 討論観点

- ・ 内容要約

### III. テーマについての自分の意見・考察

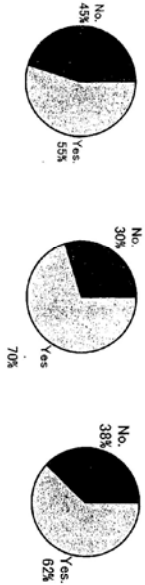
たばこに関するアンケート 集計結果

先日タバコについて取らせていただいたアンケートの結果を以下のように報告いたします。

1.タバコを法律で禁止すべきだと思いますか。

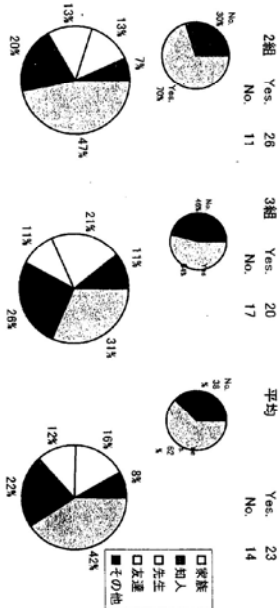
2組	Yes: 22	3組	Yes: 26	平均	Yes: 24
	No: 18		No: 11		No: 14.5

回収枚数 2組 33  
3組 37

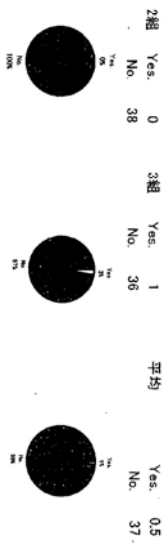


1.それはなぜですか。(主要意見のみを抜粋)  
 Yes.  
 ・小さいから  
 ・体に悪い  
 ・自他共に不健康  
 ・有害だから  
 ・強制力がないうため  
 No.  
 ・そのままでも…  
 ・人が自分で判断すべき  
 ・独占市場、闇市が起る  
 ・マナーを守っている人もいる  
 ・イライラするおじさんが増える

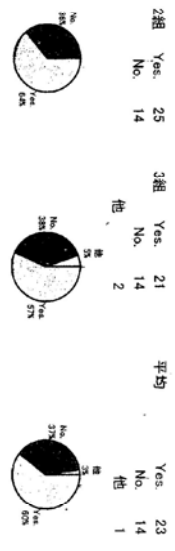
2.知人でタバコを吸っている人がいますか？それは誰ですか？



3.将来タバコを吸いたいと思いますか？



4.知人で禁煙に成功した人はいいますか？



5.タバコを吸ってみたことがありますか？



6.タバコを吸っている人をかっこいいと思いますか？

